

一般教育訓練給付制度指定講座  
公認内部監査人

# CIA Program

# CIA

**Abitus**

※Abitusとはラテン語で「出発」を意味します。

# 公認内部監査人 CIA Program

P.4 CIA(公認内部監査人)とは

P.6 合格実績と合格者の声

P.10 CIA試験について

P.12 カリキュラム

P.14 CIAプログラムの特徴

P.20 お申し込み方法

P.21 教育訓練給付制度

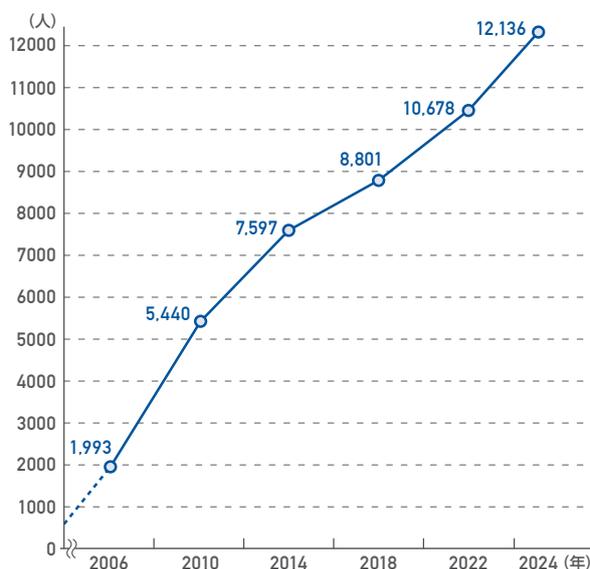
P.23 よくあるご質問

# CIA (公認内部監査人)とは

公認内部監査人を意味するCIAとは、Certified Internal Auditorの略称であり、内部監査に関する指導的な役割を担っているIIA(内部監査人協会)が認定する**国際資格**です。内部監査人の能力および専門性を証明する目的として1974年より開始されたCIA資格認定試験は、世界約190の国と地域で実施されています。

日本では1999年より日本語受験が可能になり、**2024年末迄に約12,000人がこの資格を保有しています**。世界に目を向けると、2011年に資格保有者が100,000名を突破し、約170,000名(2024年時点 IIAのWEBサイトより)まで増えています。

経営者の内部監査に対する期待値が高まっている近年、内部監査人の能力および専門性を証明するCIA資格の重要性もまた高まっています。一部の上場企業では、有価証券報告書において、内部監査部門にCIA資格保有者が在籍していること、CIA資格取得に向けて積極的に取り組んでいることを開示しています。



CIA累計合格者の推移

(出典：2024年までの日本内部監査協会公開情報から作成)

## 内部監査とは

内部監査人が実施する内部監査とは、組織体の効率的な経営目標達成に貢献することを目的として、**独立的・客観的立場から、経営諸活動の遂行状況を検討・評価し、これに基づいて助言・勧告を行い、経営諸活動を支援する業務**です。

内部監査に携わったことがない方は意外に思われるかもしれませんが、

おそらく多くの方の内部監査に関するイメージは、不正・不祥事の摘発ではないでしょうか？

しかしながら、現在(そして今後)内部監査人に最も期待されることは、**不正の摘発や未然防止以上に、業務の効率化につながる意見を経営陣に対して具申する**といったコンサルタント的な役割なのです。

つまり、内部監査人は、定期的に定形のチェックシートをマークすることだけではなく、経営者の視点に立って企業を監査し、経営者に改善を促す役割を担っているのです。

実際、欧米の企業においては内部監査部門を経営幹部への登竜門と位置づけており、日本においても、わずかながらそのような企業が出始めています。

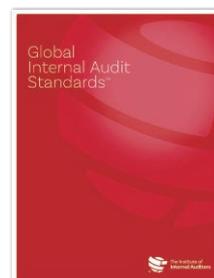


## IIA(The Institute of Internal Auditors : 内部監査人協会)

1941年に米国で設立。国際的なスケールでの内部監査専門職としての啓発活動、内部監査の実務基準の作成、公認内部監査人(CIA)などの資格認定などを主要な活動として行い、内部監査に関して世界的な指導的役割を担っています。2020年9月時点で170以上の国と地域で約200,000人の会員を擁しています(IIAのwebサイトより)。

## 得られるのは内部監査の体系的知識とビジネス知識

CIA資格によって証明される内部監査のスキルは、内部監査においてデファクトスタンダードとなっている「内部監査の専門職的实施の国際フレームワーク(International Professional Practices Framework; IPPF)」の必須事項である「グローバル内部監査基準」及び「トピック別要求事項」、補足的事項である「グローバル・ガイダンス」に則ったものです。国際的に標準化された内部監査の知識を証明するCIA資格は、企業内外での監査活動の信頼性を高め、キャリア形成においても重要なステップとなります。



### ① 内部監査の体系的知識

従来の属人的で企業ごとに偏りがちな内部監査に比べ、CIA資格は最新の実務に適合したフレームワークを学べます。

CIA資格を通じて、この体系的な知識を学ぶことで、旧来の監査手法に依存しない、普遍的かつ実践的なスキルを身に付けることができます。

### ② 広範なビジネス知識

内部監査人に求められるスキルとして、従来の監査知識に加えて、経営に資する広範なビジネス知識がより重視されています。

CIA資格は、会計、IT、ファイナンス、経営学など、内部監査を超えた幅広い領域の知識を体系的に学ぶことが可能です。

これにより、企業全体のリスク管理やプロセス改善をリードできる監査人として、より高い付加価値を提供することができます。

## 内部監査従事者だけじゃない。CIAはこんな人にもおすすめ!

### 公認会計士

アジアにおいて、韓国と日本以外の国では、ほとんどの内部監査を公認会計士が担っています。

しかし、公認会計士の監査は主に財務諸表に特化しているため、監査業務全般に対する知識不足を感じている人は少なくありません。

幅広い観点を学び、自信を持って業務監査を行うには、CIAとのダブルライセンスが適しているといえるでしょう。

また、CIAはアメリカをはじめとした世界190の国で有効な資格です。グローバルなキャリアを考えている人にとっても取得を検討したい資格の1つです。

### 経営幹部・幹部候補

経営幹部の方が特に興味を持つのがMBAです。

MBAでは企業経営について重要な考え方を高レベルで学べますが、経営幹部としての優劣はそれだけではありません。

内部監査についての専門的知識を持つ人材であれば、「予期せぬ事件・事故が起こった時にどのように会社を立て直すか」、「予期せぬ事件を予期できるか」といった企業の危機的局面に柔軟に対応できます。

MBAでは教えてくれないこれらの知識も、経営者にとって重要なスキルのひとつです。

### 2線従事者・間接管理部門

内部監査は業務全般に精通し、浮かび上がった問題点を経営者に進言できる方が適しています。

リスク管理部や経理部などに所属している方は、CIA資格を取得することで将来のキャリアに活かすことが可能になります。

また、CIAの学習で得る知識を活かした結果、業務内の問題点やリスクなどをより深く理解できるでしょう。

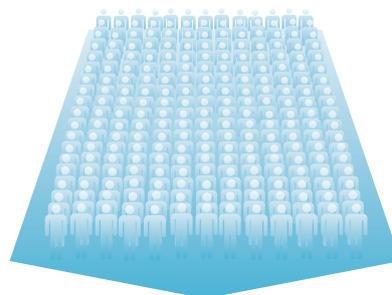
# 合格実績と合格者の声

アビタスのCIA合格者は **4,775名!**

2005年11月に開講したアビタスのCIAプログラム。  
開講以来、順調に合格者を輩出し続け、  
開講から約20年で4,000名を超える合格者数となっています。  
2025年2月時点では、4,775名と圧倒的な合格実績を誇ります。

※この数値は受講生に実施したアンケート結果に基づいています。  
※科目合格者、模擬試験のみの受講生は含まれていません。

2005年11月 CIAプログラム開講



2025年2月時点 **4,775名**

CIA試験のアビタス受講生累計合格者数

## Column

### アビタス受講生における合格までの学習期間

平均値

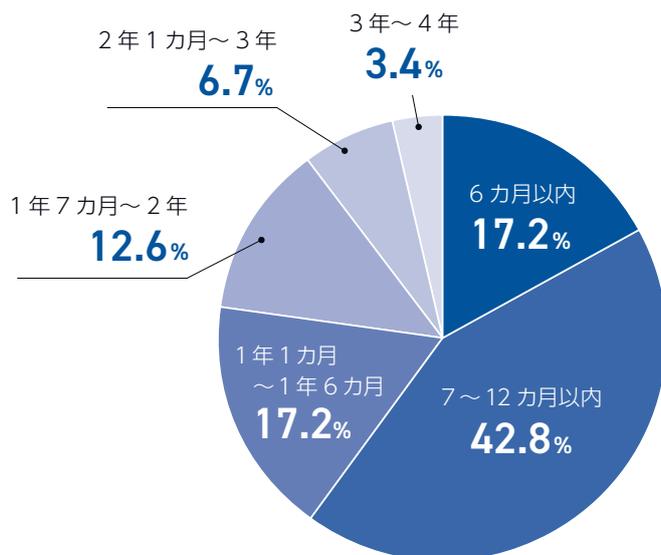
中央値

2020年：19カ月

2020年：14カ月

2024年：14.3カ月

2024年：12カ月



2024年は **60%**の受験生が**1年以内**に合格

## 合格者の声

### 知識を再整理して今後のキャリアに活かしたかった

#### CIAを目指した理由

60歳を目前にして、自らのリスク管理に関する知識を再整理して、今後のキャリアに活かしたかった。また資格取得を目指し、それをクリアする力があることを、今後のキャリア形成のためにも示したかった。

#### アビタスを選んだ理由

10年前に金融機関の監査部門に在籍していた際に資格取得者から、自分で勉強するのではなくアビタスを受講することを薦められたが、その時は在籍期間が短く資格取得の勉強開始に至らなかった。今回真剣に資格取得を考えwebでアビタスを検索した際、依然として高い実績を維持しているとのことだったので、そのままアビタスを選びました。(他の選択肢は考えませんでした。)

#### CIAの学習を通じて得た事

リスク管理に関する知識を整理することには役立ち、現在の業務フローの問題点の考察等、業務やリスク管理をより深く理解することに役立ちました。

#### これからCIAを目指す方へのアドバイス

勉強を始めた頃に勉強方法のアドバイスを頂戴し、MC問題が重要であること、スマホ・アプリ版があることを教えて頂きました。WEB講義視聴後、MC問題集→テキスト読み込みを繰り返すことで力がつきました。MC問題の回答内容が十分に理解できない際は直接問い合わせシステムで質問しましたが、この回答も論点の整理に役立ちました。勉強開始時の電話連絡を含め、サポート体制が充実しているのでどんどん活用すべきだと思います。



株式会社レオパレス21  
賃貸管理企画部長

桃原 正広さん

### 助言の提供で、組織体に価値を付加することが出来ている

#### CIAを目指した理由

私は、銀行に33年3ヶ月勤務しておりましたが、思い立って56歳にて現勤務会社に転職。その際、内部監査部門を立ち上げるプロジェクトチームに参画するようと言われました。これを機に内部監査の専門知識を付けるため、国際資格でもあるCIAを目指すこととしました。

#### アビタスを選んだ理由

歴史、合格者の実績、教材の充実度、講師の質等に鑑み、アビタスを選択しました。

#### CIAの学習を通じて得た事

勤務している会社は非上場ながら、トラック等のリース会社で内部統制の充実が求められていました。CIA取得により監査に係る基本的な知識を得たことで、立ち上げ初年度からIPPFに則った監査を実施。少なからず組織体に価値を付加することが出来ていると思っています。また個人的は、社長より評価され昇格することが出来ましたし、グループ会社の内部監査部門からも一目を置かれる存在になれました。

#### これからCIAを目指す方へのアドバイス

最後はテキストとIPPFを精読し、間違っている選択肢については「IPPFにそんなことが書いてあったか」と、ある意味素直な思考で取り組むことが出来たことが合格に繋がったのではないかと考えています。アビタスでは教材もそうですが、講師陣が充実しており、ライブやWeb講義がとても分かり易いと思います。

CIAは、私のような世代においても転職や再雇用時の条件が有利になると考えています。他との比較で、CIAは所謂過去問を解いていれば合格出来るといった簡単に取得できる資格ではありませんが、継続的な学習により必ず合格出来ます。どうぞ、頑張ってください。



トラック等のリース会社  
監査部 部長

中村 元彦さん

### 合格者の声

#### 他のグループ会社のCAEと、同レベルの会話をするために取得

##### CIAを目指した理由

監査部門に異動し経験を積んだ後、グループ会社の室長を務めることになりました。他のグループ会社のほとんどのCAEはCIA取得済でしたので、その方々と同じレベルの会話をするために取得を目指しました。

##### アビタスを選んだ理由

取得済の人からの紹介もありましたが、他の学校と異なり、オンライン授業というリアルタイムで試験情報が更新されるところが気に入りました。

##### CIAの学習を通じて得た事

監査の内容に関して意見を述べる際にIIA基準の知識があるというバックボーンから自信を持てるようになりしました。また、IIAの知識を持っている方と、共通の言葉や定義で議論が出来るようになったことは良かったと思います。

##### これからCIAを目指す方へのアドバイス

とにかく、アビタスのテキスト、講義、MC問題集、模試を繰り返し学習することです。市販のテキストやYoutube等に情報があふれていますが、手を出してはNGです。

1回目：オンライン授業、2回目：ストリーミング配信動画、3回目：オンライン授業の配信動画、テキストの他に、Chapter毎に自分で要旨をまとめるノートを作成しました。



SIサービス会社  
監査室 室長

吉岡 剛さん

#### 以前よりも重要な責任を負い、気を引き締めて業務に取り組んでいます

##### CIAを目指した理由

内部監査部門で約5年間の勤務を経験し、自身のスキルをブラッシュアップする機会はないか考えていました。折しも会社の経営層から、内部監査部門にCIA取得者を配置することで監査品質向上と監査部門のレベルアップを図るよう指示があり、CIA受験に挑戦することを決めました。

##### アビタスを選んだ理由

教室における座学、WEB受講の両方があり、自分のペースで学習を継続できること。教室が自宅から30分程度の場所にあり、無理なく通学できることです。

##### CIAの学習を通じて得た事

内部監査部門で勤務してきた5年間の実績に対する一定の公式評価が与えられたと感じ、達成感や自信を感じることができました。合格後は、日常の業務運営について、CIA取得者としての意見や考え方を述べる機会が与えられるようになったことから、以前にも増して重要な責任を負うことになり、気持ちを引き締めて業務に取り組んでいます。

##### これからCIAを目指す方へのアドバイス

CIAの試験では、用語の選択が回答になる設問はあまり多くないものの、「5つの要素」とか「3つの原則」等、セットになった用語群をそのまま頭にインプットすると理解が深まると考えました。このため、用語専用のノートを作成し、テキストにある用語群を全て書き出しました。ノートを見ながら「倫理綱要の4つの原則」と言えば?と自問自答しました。



株式会社大林組  
本社業務管理室 担当部長

田中 淳一さん

## 「正論」を根拠を持つことで、一定の軸が持てるようになった

### CIAを目指した理由

現職に社内異動となり、改めて内部監査業務に関わることになった。現部署ではCIAの取得を推奨しており、かつ体系的に知識を整理、獲得するにあたり適当な目標設定であると考えた。加えて、アビタスなどでの資格紹介では、対外的にも活用できる可能性があることから目指すこととした。

### アビタスを選んだ理由

独学も考えたが効率的に学習するためにもある程度の費用をかけてでも効率的に進めたいと考えた。また、費用をかけていると途中で断念しづらくなるとも考えた。他社との比較では、合格まで継続的に受講や質問対応などを行ってくれそうだったので選択した。

### CIAの学習を通じて得た事

一定の整理された知識、現場においては「正論」を根拠を持つことで、現場実務においても一定の軸が持てるようになった。周りからの見る目においても一定の重みを増すことができたと思います。

### これからCIAを目指す方へのアドバイス

途中、個々の内容について興味が薄れて集中できなくなり、能動的な取り組みができず時間(期間)ばかり経過することが課題であった。これに対応するため、講義の直後に対象単元のMCを集中して実施すること、知識内容をマインドマップの形に整理しなおす事、そのうえで模擬試験や問題集を実施して知識の穴を無くしていった。

試験対策、試験テクニク的な部分もある試験であるが、アビタスの情報を全面的に活用すべきだと思う。



日東紡績株式会社  
監査委員会事務局長  
兼 監査室参事

横地 康充さん

## 証明できる資格があることは一種の安心感、信頼感に繋がる

### CIAを目指した理由

シンガポール拠点の立ち上げを担うことになり、経営、会計などをバランスよく習得でき、その証明を国際的に示すことができるCIAに着目し、試験を受けることにしました。

### アビタスを選んだ理由

すべてオンラインで完結できる点です。シンガポール在住でもテキスト等をこちらに送っていただくなど、問題なく対応いただけました。実際の講義の配信もしていただけたのでより最新の情報に触れることができたのはかなり助かりました。

### CIAの学習を通じて得た事

海外支店の代表をさせてもらっているので、こういった対外的に一定程度の知識があることを証明できる資格があることは社内外の方々にとっての一種の安心感、信頼感のようなものに繋がると思います。支店の代表と言っても立ち上げの担当なので、経営というよりは営業はもとより、人事、経理、財務の全てを担っているので、折に触れ学習したことが直接間接双方に生かされていると実感します。

### これからCIAを目指す方へのアドバイス

ひとつひとつをマニアックに学習するよりはメリハリをつけて、幹というかコアとなる部分の理解を深める(強める?)ほうが良いと思います。

また、私自身それなりに英語が使えますが、英語が使える方は問題文の英語チェックはされたほうが絶対良いです。日本語がわかりにくい問題もたまにあり、日本語の理解だと問題と選択肢の回答が逆になりかねないこともありました。



海外支店責任者

KENTARO  
NAKATSUKAさん

# CIA試験について

## ■ 試験内容と合格基準

CIA試験は科目合格制度を採用しているため、1Partずつ受験されることをお勧めします。

### 試験内容

	科目名	出題形式	問題数	試験時間
Part1	内部監査の基本	4択	125問	2時間30分
Part2	個々の内部監査業務	4択	100問	2時間
Part3	内部監査部門	4択	100問	2時間

### 合格基準

CIA試験のスコアは、各Partいずれも250～750ポイントのスケールド・スコアに換算され、600ポイント(おおむね75%の正答率)以上で合格となります。合格率は公表されていません。

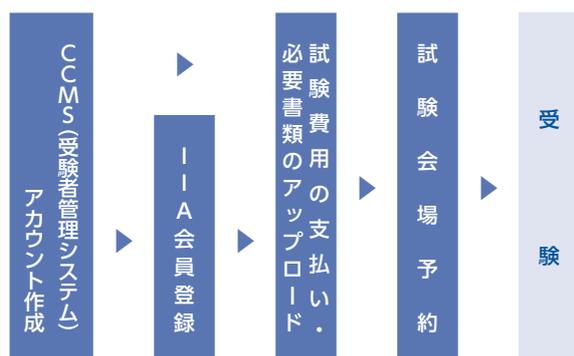
各Partごとに8回の受験回数が設けられています。仮に8回の制限を超えた場合、今までの合格実績が取り消され、再受験する必要があります。

## ■ コンピュータ試験(Computer-based Testing:CBT)

CBTのため、自由度が非常に高い試験であることが特徴です。多忙なビジネスパーソンでも受験に取り組みやすくなっています。また、世界中で日本語による受験が可能です。

### 受験までの流れ

手続きは全てオンラインで完結できます。詳細なマニュアルをご用意しています。



### 試験結果

試験終了後、試験会場にて仮結果が発行されます。受験から72時間以内にCCMSアカウントに反映されます。

### 試験日程および会場

ピアソンVUE (<http://www.pearsonvue.com/japan>) が指定する世界約500カ所のテストセンターにて、お好きな日に受験することができます(東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・大阪・広島・高松・新居浜・福岡・沖縄)。\*

会場一覧：<https://www.pearsonvue.com/content/dam/VUE/vue/ja/documents/clients/iia/TCL-I.pdf>  
ただし、同一科目の再受験に限り、受験日の31日目以降でなくてはなりません。

別途手数料の支払いにより、オンライン上で自宅受験が可能です。オンライン試験手数料についてはIIAのwebサイトでご確認ください。

※2025年4月現在

### 受験料

IIA(内部監査人協会)会員かどうかで受験料が異なります。\*「IIA個人会員」料金は、受験申込書の提出時点で個人会員手続きが完了している方のみ適用されます。

	IIA個人会員	IIA個人会員以外
登録料	¥18,000	¥36,000
Part1	¥46,000	¥66,000
Part2	¥42,000	¥62,000
Part3	¥42,000	¥62,000

※受験料は適宜変更になる可能性があります。詳細はIIAのwebサイトでご確認ください。

## ■ 受験条件と資格認定条件

### 受験条件

4年制大学を卒業

4年制大学を卒業されていない場合、受験申請の時点で最低5年の実務経験があり、そのうちの 24 ヶ月は過去 36 ヶ月以内であることが必要となります。

### 資格認定条件

CIAとして資格認定を受けるためには、全科目合格に加え、下記の条件を満たす必要があります。

#### 【実務経験】

直近20年以内の、内部監査またはこれに相当する業務(内部監査、品質のアシュアランス業務、リスク・マネジメント、その他の監査または評価実務、コンプライアンス、外部監査、インターナルコントロール)

#### 【経験年数】

院卒の場合⇒1年 学部卒⇒2年

受験申込登録完了日(IIA本部への登録が完了した日)より、3年以内に全科目に合格し、かつ、実務経験の証明を含む資格認定手続きを完了している必要があります。

3年以内に上記の手続きが完了していない場合、それまでに合格した試験またはPartは無効となります。

※3年の有効期限内に申請手続きをすることで、期限を1年延長することができます(1回限り)。

### 継続教育制度(Continuing Professional Education / CPE)

CIA認定者が専門職としてふさわしい能力・知識の開発を継続し、称号を維持するに値することの証明を目的とした制度です。CIA資格認定を保持するためには、1年毎に所定のCPE単位(内部監査実務に従事している場合:40CPE単位、従事していない場合:20CPE単位)の取得が必要となります。ただし、認定を受けた年は報告免除期間になります。

40(20)CPE中、倫理に関する単位を2単位取得しなければなりません。



CIA認定者は、12月の所定の日までにCPE単位を報告し、同時に資格更新手数料(IIA個人会員¥4,500、非会員¥18,000)の支払いが必要となります(2025年2月現在)。上記の要件を満たせない場合、Inactive(活動休止)というステータスになります。Inactiveが12カ月以上継続し、再度資格認定を希望する場合は、必要CPE単位(復帰する年と前年の2年分)の報告に加え、復帰手続き手数料の支払いが必要となります。

3年間更新を怠ると、資格が失効し、認定を得るには再度Part1の受験が必要になります。

# カリキュラム

アビタスのカリキュラムは、試験範囲を記したIIA(内部監査協会)の「シラバス」に完全準拠した構成です。グローバル化とITの進歩を背景として、国際的実務に対応できるよう、講義も進化を続けています。

## ■ IIAシラバス完全準拠の全26回 65時間

### Part1

#### 内部監査の基本

各2.5時間 講義22.5時間

Part1では、内部監査の基本的な原則や、ガバナンス、リスクマネジメント、内部統制のフレームワークを学びます。組織のガバナンスの仕組みと、内部監査がどのようにそれをサポートするのかを理解し、リスクに基づいたアプローチを適用する能力を養います。

第1回	内部監査概論
第2回	内部監査概論 内部監査部門の独立性
第3回	内部監査部門の独立性 倫理と専門職としての気質
第4回	倫理と専門職としての気質
第5回	ガバナンス
第6回	リスク・マネジメント
第7回	リスク・マネジメント コントロール
第8回	コントロール 不正リスク
第9回	MC(4択)問題解説講義

### Part2

#### 個々の内部監査業務

各2.5時間 講義25時間

Part2では、監査の計画、実施、報告の具体的なプロセスに焦点を当てます。内部監査人としての実務能力を強化し、効果的な監査手法を習得することが目的です。データ分析やIT監査の活用も含まれ、最新のテクノロジーを活用した監査スキルを学びます。

第1回	個々の内部監査業務の計画
第2回	組織構造と組織行動
第3回	IT
第4回	IT
第5回	会計とファイナンス
第6回	ビジネスプロセス 個々の内部監査業務の実施
第7回	個々の内部監査業務の実施
第8回	サンプリング
第9回	分析的手続 個々の内部監査業務の監督とコミュニケーション
第10回	MC(4択)問題解説講義

### Part3

#### 内部監査部門

各2.5時間 講義17.5時間

Part3では、内部監査部門の運営や品質管理、監査結果の報告とモニタリングを学びます。監査部門の戦略と運営、リスクベースの監査計画、品質向上、改善提言と報告、監査後のフォローアップに関する知識を習得し、実務での適用力を高めることが目的です。

第1回	内部監査部門の運営
第2回	内部監査部門の運営
第3回	内部監査の計画
第4回	内部監査の計画 内部監査部門の品質
第5回	個々の内部監査業務の結果とモニタリング
第6回	個々の内部監査業務の結果とモニタリング
第7回	MC(4択)問題解説講義

※講義時間はライブ講義。講義回数、内容を変更する場合があります。

## オプション講座

### CIA財務会計入門 eラーニング通信限定コース

eラーニング

合計8時間

CIA試験では、財務会計・ファイナンス・管理会計が出題範囲に含まれます。

CIAコースの講義は、簿記3級程度の知識を有していることを前提に進行しますので、会計の学習・実務経験をお持ちでない場合、当コースの受講をお勧めします。

第1章	企業会計の基本を知る	第4章	収益・費用の認識ルールとP/L
第2章	発生主義と利益の本質を知る	第5章	固定資産と減価償却
第3章	会計の記録方法と会計処理システム	第6章	不適切会計と財務諸表分析

### column

#### Q どのPartから学習してもよいですか？

**A Part1から学習することをお勧めします。**

アビタスではPart1,2,3の順番を推奨しています。

Part1は内部監査の基本となる理論、Part2とPart3は内部監査の実務を扱うためです。

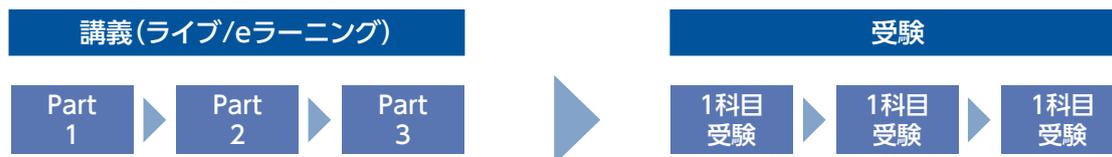
#### Q 1科目だけ学習して1科目受験する、という受験スケジュールでもよいですか？

**A 全科目受講してから1科目ずつ受験する方が望ましいです。**

CIA(公認内部監査人)試験は、各Partの学習内容が密接に関連しています。

そのためアビタスでは、全3科目の講義を一通り受講して全体像を掴んでから、1科目ずつ復習して受験されることを推奨しています。

アビタスが推奨する学習の進め方



# CIAプログラムの特徴

アビタスのCIAプログラムは、オリジナル教材と充実のサポート体制で、多くの合格者を輩出してきました。講義、テキスト、問題集がそれぞれリンクし合っているため、トピックごとに効率的に学習できます。前提知識がない方も400時間で合格を狙えます。

## ■ リンクし合う学習ツールを活用し、400時間で合格を実現



## 1 「わかりやすさ」に重点をおいた講義

### 「初学者でも理解できる」講義が基本ポリシー

アビタスの講師陣は専門分野に精通しているだけでなく、高いティーチングスキルを誇ります。内部監査・内部統制という捉えにくい概念も、具体例を交えながら興味を引き出すように説明します。このため、理解の定着が驚くほど容易に進みます。

### 「品質管理」の徹底

全ての講師は、同一のシラバスとスライドに基づき講義を行っています。したがって、ライブ講義・eラーニング講義によって講義内容や進度が異なるといったことが起こりません。さらに、毎学期、受講生による講師の評価を実施しており、即講師にフィードバックすることにより、継続的な改善につなげる体制を整えています。

グローバル内部監査基準対応のスマールユニット方式のeラーニング動画、MC(4択)問題のeラーニング全問解説動画は現在作成中です。準備ができ次第順次視聴可能となりますので詳細は説明会にご参加、またはお問い合わせください。現在はグローバル内部監査基準対応のZoomライブ講義またはそのアーカイブ動画での学習となります。

## 2 スモールユニット方式・MC(4択)問題eラーニング全問解説

### スモールユニット方式〈通信コース・通信限定コース〉

スモールユニット方式は、講義をトピックごとに細分化しているため、その項目について他の項目と知識を混同せず、理解を定着させることができます。  
また、1ユニット平均28分で完結するので、スキマ時間を使った学習も可能となります。タブレットやスマートフォンにも対応しているため、移動時間を活用した学習も可能です。eラーニングとライブ講義の内容は同じです。

講義視聴	平均12分
問題演習	平均5問 5分
問題解説	平均5問 11分

**1ユニット**  
(講義視聴+問題演習+問題解説)  
**平均28分**

eラーニング画面〈講義動画をPC・タブレット・スマートフォンで視聴可能(2年間)〉

**講義画面**

**1ユニットが1画面で完結**

**ユニットごとに講義と関連問題、問題解説講義が表示される**

**最大2倍速まで対応**

**対応する問題にすぐアクセスしてオンライン上で演習が可能**

**問題演習**

**問題解説**

※通信コース・通信限定コースの講義視聴コンテンツはeラーニングでのご提供となります。

### MC(4択)問題 eラーニング全問解説

アビタス問題集収録の全問題に対して、「MC(4択)問題解説講義」動画を提供しています。ご自身で悩んだり調べたりする時間をカットして、一気に問題に対する理解を深めることができ、大幅な時間の節約となります。

■設問の意図の理解

設問の意図の理解

Abiタス  
MC解説: M03-02-08  
Part I Chapter3

CIAM10369

監査人と監査対象部門の関係を改善するプロセスの一環として、内部監査がどのように認識されているかに対処することは非常に重要である。内部監査人のどのような姿勢が、監査対象部門からの好意的な認識に繋がるか。

a. 客観的な姿勢  
b. 調査的な姿勢  
c. 不審そうな姿勢  
d. 相談的な姿勢

アビタスのCIA教材は、試験傾向をふまえた上で精選し、重要トピックとして構成しています。学習すべき内容がトピックごとに細分化しており、効率よく学習を積み重ねていただくことが可能です。さらに、講義、テキスト、問題集をユニット番号で結び付けているため、講義視聴から関連する問題の演習まで、トピックごとにスムーズに行うことができます。

## テキスト・電子テキスト

### 精選された重要ポイントを豊富な図解を交えてわかりやすく解説

理解すべき論点について豊富な図解を交えて解説するオリジナルテキストは、複雑なコンセプトも一目で理解できるように編集しています。



**基準**  
内部監査の国際基準 (IPPF) の内容を説明した部分です。

62 CIA Part 1 3-1 倫理と専門職としての気質

### 3-1 倫理と専門職としての気質

本Chapterでは、内部監査業務に携わる内部監査専門職に期待される行動について学習する。「グローバル内部監査基準」のドメインII（倫理と専門職としての気質）は、旧「倫理綱要」に代わるものであり、内部監査専門職に期待される行動を規定している。内部監査人は、この基準に適合することで倫理的な文化を育成し、信頼を獲得することが求められる。CAEは、内部監査人の基準への適合を支援し、説明責任を果たす役割を担う。

**図解**  
理解すべき重要な概念やキーワードについて豊富な図解で解説しています。

**補足情報**  
本文に記載されている情報の背景を知ることにより理解が深まります。

**旧「倫理綱要」における取組の項目は以下の通り、**  
・誠実性  
・客観性  
・秘密の保持  
・専門的能力

**基準**  
「グローバル内部監査基準」の「倫理と専門職としての気質」ドメインの原則と基準は、IIAの旧「倫理綱要」に代わるものであり、内部監査部門長、その他の個人、及び内部監査業務を提供するあらゆる事業体を含む内部監査専門職に期待される行動を記載している。これらの原則と基準に適合することで、内部監査という職業に対する信頼が生まれ、内部監査部門内に倫理的な文化が形成され、内部監査人の仕事と判断に対する信頼の基礎が提供される。

すべての内部監査人は、倫理と専門職としての気質の基準に適合することが求められる。内部監査人が、組織体の倫理規範、行為規範、行動規範など、他の規範を遵守することが求められる場合であっても、ここに含まれる倫理と専門職としての気質の原則と基準への適合が求められる。ある特定の行為がこの原則と基準に定められていないからといって、その行為を容認できない又は信用を傷付けるものであるとするのを妨げるものではない。

内部監査人は自らの適合性に責任を負うが、内部監査部門長は、研修や指導の機会を提供することにより、「倫理と専門職としての気質」のドメインの原則と基準への適合性を支援し、促進することが求められる。内部監査部門長は、適合性の管理に関する一定の責任を委任することを選択することができるが、内部監査部門の倫理と専門職としての気質に対する説明責任は保持する。



**メモ機能**  
テキスト形式で補足文を入力

**色分け機能**  
直線や色分けで重要部分をハイライトできる

### さまざまな学習環境に対応できる電子テキストもご利用可能

時間と場所に縛られることなく学習を進めていただけるように、テキストを電子化しました。ブラウザ上やアプリでいつでもご利用いただけます。電子テキストには、メモや単語検索といった学習をサポートする機能が満載で、学習機会を逃しません。 ※端末はご自身でご用意ください。

- ・テキストがインターネット上で見られる
- ・メモや書き込みを端末間で同期
- ・機内などオフライン環境下でも利用可能 ※専用アプリをダウンロードしたiOS、Android端末のみ
- ・網羅的・高速なテキスト検索機能で、専門用語を全テキストの範囲で一度に検索可能

## MC (4択) 問題アプリ・電子版問題集

### スマートフォンやPCでスキマ時間を有効活用

スマートフォン用MC問題アプリや電子版問題集でMC問題演習が可能です。全ての問題においてアビタスオリジナルの解説を加えており、正答の解説のみならず、誤答の選択肢について「なぜそれが誤答であるか」も解説を加えています。さらに、全問について解説動画もご用意しています。間違えた問題や理解が不十分であると感じる問題については、解説動画を視聴することで理解をさらに確実なものにすることができます。こうした問題演習を通じて、本試験での応用力・得点力を向上させることができます。

#### 問題

MC 312

組織体の内部監査部門が、「グローバル内部監査基準」の「倫理と専門職としての気質」ドメインの原則と基準へ適合することによって、どのようなメリットがあるか、最も適切なものを以下から選びなさい。

- 同時に組織体の倫理規範を導くことになる。
- 同時に組織体の行為規範を守ることになる。
- 内部監査人に対する信頼の基礎が提供される。
- 内部監査人に対する勇気の基礎が提供される。

#### 正解・解説

MC 312

倫理と専門職としての気質に関する問題。

「グローバル内部監査基準」の「倫理と専門職としての気質」ドメインの原則と基準への適合により、内部監査という職業に対する信頼が生まれ、内部監査部門内に倫理的な文化が形成され、内部監査人の仕事に、市民に対する信頼の基礎が提供される。

従って、正解はc。

a, bは誤り、必ずしも完全に一致するとは限らない。  
dは誤り、勇気を持つべきなのは内部監査人であり、利害関係者が内部監査人に対して勇気を持つことは求められていない。

解答:c



### 【スマホで使えるMC (4択) 問題アプリ】

MC (4択) 問題のアプリを開発しました。スマートフォン、タブレットにダウンロードすれば、通勤電車の中、出張の飛行機内など、いつでも手軽に演習できます。

- ・オフラインで動作
- ・選択肢シャッフルモード搭載

※iPhone/iPadまたはAndroid端末で動作します。端末はご自身でご用意ください。

## MC (4択) 問題 WEBプラクティス

### 本試験に近い環境で実践的トレーニング

本試験に近い形での問題演習がWEB上で可能です。章ごとに演習、間違えた問題のみ演習、ユニットごとに演習、さらにはランダムに抽出しての演習ができますので、学習の進捗に合わせた実践的な問題演習ツールとしてご利用いただけます。

※収録問題はMC (4択) 問題アプリ・電子版問題集と同一です。



**【演習設定画面】**

MC (4択) カードの問題番号順に、あるいはランダムに演習することができます。本試験と同じ演習時間と問題数を設定することで、本試験と全く同じ条件での問題演習を可能としています。



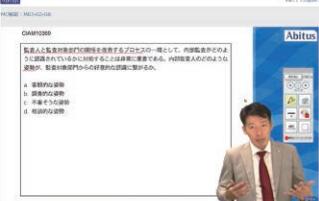
**【演習画面】**

MC (4択) カードの問題をコンピュータ画面上で演習することで、本試験環境に慣れることができます。



**【正解と解説画面】**

問題演習の途中で、個々の問題の正解と解説を確認できます。



**【MC (4択) 問題 eラーニング全問解説】**

問題解説を読んでも理解が不十分と思った場合には、eラーニングの問題解説講義を視聴することができます (MC (4択) 問題全問)。

### 3 安心の2年間サポート

CIA資格の特性上、忙しいビジネスパーソンが学習されるケースがほとんどです。お仕事やご家庭の事情などにより、学習の中断を余儀なくされた方でも学習を継続できるように、2年間の受講サポート体制を用意しています。いずれのコースも、学習に関する質問回答サービス、受験手続サポート等を2年間無料で受けられます。また、通信コースの受講生は、入学後の2年間ライブ講義への出席が無料です(受講生マイページからの予約が必要です)。

	通信コース	通信限定コース
ライブ講義 (実地教室講義)	○	×
Zoomライブ講義 (アーカイブ動画含)	○	○
eラーニング	○	○
自習室	○	×

column

## 学習スタイルに合わせた2つのオンライン講義

### アビタスならどちらも使える!eラーニング講義とZoomライブ講義

好きな時間で学習したい!  
スキマ時間を有効活用したい!

#### eラーニング(事前収録)

1講義は約10分。いつでも好きな時間に全講義が  
視聴可能。



決まったスケジュールで学習したい!  
学習のペースメーカーが欲しい!

#### Zoomライブ講義(教室講義)

1講義は約2.5時間。スケジュールに合わせて  
オンラインで視聴。配信動画は後日でも視聴可能。



電子テキスト・アプリ・オンライン講義は推奨環境でご利用ください。

## 学習サポート体制

学習中

### ■ 受験手続きサポート

願書記入方法を含む受験手続きについて、受講生サービス部によるガイダンスを開催しています。また、全ての試験手続きについて詳細なマニュアルをご用意しています。

※受験手続はご自身で行っていただけます。

### ■ 学習に関するイベント

定期的に講師や合格者をお招きしたイベントを開催し、学習ノウハウを共有しています。

### ■ 模擬試験(受講生限定・有料オプション)

実際の試験さながらの環境で、予行演習としてご活用いただけます。アビタス校内もしくはご自宅にて受験することが可能です。

### ■ 質問回答サービス

受講期間中は、学習内容や受験手続きに関する質問回答サービスを利用いただけます。

※各質問に対する回答には最長で10日間をいただきます。

### ■ 転職サポート

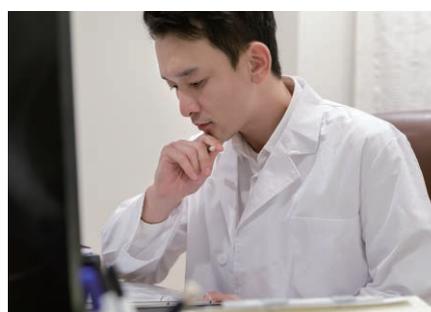
合格後に転職をお考えの方は、AB Career associatesをご利用ください。当校受講生の方は学習中から情報提供やサポートを受けることができます。

### ■ AEC(Abitus Expert Community)

アビタス受講生全員が、個のビジネスパーソンとして集えるコミュニティに参加できます。

財務会計、内部監査、FASといった分科会があり、各業界についての情報交換やミーティングを通じて、学びの意欲を活性化、継続できます。

合格後



# お申し込み方法

## ■ お申し込み方法

Webでお申し込みいただけます。

下記よりご希望のコース・オプションをご入力ください。



または [cia@abitus.co.jp](mailto:cia@abitus.co.jp) までご希望のコースをお知らせください。当校スタッフからメールで申し込み用URLをご案内いたします。

※ 顔写真、身分証明書のご提出

受講開始後、受講生マイページ内にて「顔写真」「写真付き身分証明書」の画像データをご提出ください。原本のご郵送等は不要です。ご提出方法の詳細は受講開始後のメールにてご案内いたします。

## ■ お支払い方法

### 銀行振込

下記銀行口座までお振り込みください。

三菱UFJ銀行 新宿中央支店 普通 3823200 株式会社アビタス

### クレジットカード(Web)

ご利用可能なカード会社はVISA・MasterCard・JCB・アメリカンエクスプレス・ダイナースの5社です。



◆ 選択可能なカード支払い回数  
(ご利用のクレジットカード会社により異なります)

1回・3回・5回・6回・10回・12回・15回・18回・24回・リボ払い

### 受講料のお見積もり

■ アビタスよりメールにてお見積もりのご案内を差し上げます。メールに添付されているURLをクリックしてください。

### 見積もり内容のご確認

■ サイト上のお見積もり画面で内容を確認、個人情報を入力の上、クレジットカード決済の手続きを進めてください。  
■ 「申込規約」に同意いただく必要があります。

### カード決済の受付完了

■ メールにてお手続き完了のお知らせが届きます。

### 受講開始

■ 教材の発送を行います。

### ローンによる月々分割払い(Web)

月々の分割払いを低金利でご利用いただけます。ボーナス併用払いも可能。

お手続き後、通常即日～2日程度でローン審査完了。可決後すぐに学習をスタートしていただけます。

(お支払いのシミュレーションサイトもご用意しております。詳細は各校にお問い合わせください)

分割回数：1～60回。

## ご請求書発行について

ご請求書をご希望される旨を、記載する宛名と合わせて[cia@abitus.co.jp](mailto:cia@abitus.co.jp)までご連絡ください。

※ 受講料振込後の役務提供となりますのであらかじめご了承ください。

# 教育訓練給付制度

CIAプログラムは厚生労働省「一般教育訓練給付制度」対象講座です。受講料の20%が戻ります。

## ■ 支給対象者

### 雇用保険の一般被保険者

当講座の受講開始日※において、雇用保険の一般被保険者であった期間が1年以上の方が対象になります。以前に当制度をご利用された方は、前回利用した講座の教育訓練給付金の支給決定日から、雇用保険の一般被保険者としての期間が3年以上経過していれば再度支給が可能です。

※受講開始日は、教材などの発送日になります。

※支給決定日は支給申請者に対して、ハローワークから送付される「教育訓練給付金(一般教育訓練)支給/不支給 決定通知書」に明記されます。

雇用保険加入期間	支給される金額
初めてご利用の方 1年以上	受講料の20%
2回目以降ご利用の方 3年以上	

### 雇用保険の一般被保険者であった方

一般被保険者資格を喪失した日(離職日の翌日)から当講座の受講開始日※までが1年以内の方であり、上記の条件を満たしている方。

※受講開始日は、教材などの発送日になります。

## ■ 給付金受給までの手順

- 1 当校の指定講座にお申し込み
- 2 当校の講座修了要件を満たす
  - 修了要件については下記をご参照ください。
- 3 当校より「教育訓練修了証明書」を発行
  - 受講修了日経過後、「教育訓練修了証明書」「教育訓練給付金支給申請書」「受講料領収書」「経費等確認書」を当校より郵送いたします。
- 4 ハローワークにて支給申請
  - 受講修了日の翌日より1か月以内に「教育訓練給付金支給申請書」「教育訓練修了証明書」「受講料領収書」「本人住所確認書類」「雇用保険被保険者証」「経費等確認書」「本人名義の預金通帳」「マイナンバーカード(もしくは通知カード+顔写真付身分証明書)」を住民票記載の住所を管轄するハローワークに提出し、支給申請を行っていただきます。

## ■ 支給対象講座の修了要件

教育訓練講座名称	実施方法	訓練期間	教育訓練経費			支給金額(20%)	修了要件
			入学金	受講料	合計		
CIA(公認内部監査人) eラーニング通信コース	通信	5カ月	¥11,000	¥290,400	¥301,400	¥60,280	添削問題において期間内に全科目100点満点中70点以上の成績を収めること。
CIA(公認内部監査人) eラーニング通信限定コース	通信	5カ月	¥11,000	¥277,200	¥288,200	¥57,640	添削問題において期間内に全科目100点満点中70点以上の成績を収めること。

※いずれも消費税10%込です。税率は変更される可能性があります。

※支給金額は割引額によっても変動いたしますので、ご注意ください。

# 各種イベント

## 無料説明会



CIA試験や当校プログラムについて詳しく知りたい方のための、無料説明会を開催しています。

受講をご検討中の方は、お気軽にご参加ください。

## 無料カウンセリング



皆さまの疑問に専任アドバイザーが丁寧にお答えします。

- テキストや問題集を見たい
- 学習プログラムの特徴についてもっと知りたい
- 学習計画や勉強時間について相談したい
- 申し込み方法やローンについて確認したい

## 無料体験講義



学習を開始する上で、やはり講義の雰囲気やクオリティは気になるものです。当校では、定期的に無料体験講義を開催しています。まずは実際の講義をご体験ください。

# よくあるご質問

## ■ 試験について

**Q.** CIAの試験日はいつですか？

**A.** 試験は通年で実施されています。ピアソンVUEのテストセンターにてお好きな日程で受験することが可能です。※ただし、初回の受験手続には2.5カ月程度を要しますのでご注意ください。

**Q.** 受験の手続方法を教えてください。

**A.** 日本内部監査協会のHPより試験料お支払い後、ご自身のCCMSアカウントより必要書類のアップロードと規約同意をお済ませいただくことで、受験が許可されます。

**Q.** PC操作にあまり自信がないので、受験するのが心配です。

**A.** 試験問題は全て4択になっています。解答方法は、正しい選択肢をクリックするだけで済みますのでご安心ください。

**Q.** 海外でも日本語で受験することは可能ですか？

**A.** はい。試験予約の際に日本語を選択していただければ結構です。

**Q.** 海外でCIAを受験する場合には、手続きはどうなりますか？

**A.** お住まいの国により、受験申込み方法や受験料が異なります。詳しくはIIA Webサイトでご確認ください。

## ■ 資格認定について

**Q.** 資格認定条件における実務経験の証明方法は？

**A.** 受験手続きで作成したCCMSアカウント上で必要事項を記載し、実務経験証明者からの承認が必要です。実務経験の証明に関しては、当パンフレット11ページに記載している実務経験の内容が、そのままチェック項目となっており、該当される項目にチェックを入れる形式です。具体的な実務経験の内容をご自身で記載される必要はありません。

**Q.** 全Part合格後、いつまでに認定を受けなくてはならないという決まりはありますか？

**A.** 2019年8月28日以降、受験申込登録完了日(IIA本部への登録が完了した日)より、3年以内に全科目に合格し、かつ、実務経験の証明を含む資格認定手続が完了しない場合は、合格実績が全て無効になります。ただし申請により有効期限を1年延長することが可能です(1回限り)。

**Q.** 継続教育(CPE)にかかる費用はどの程度になるのでしょうか？

**A.** イベント・講習会への参加など非常に多様な手段があり、またその費用も様々です。IIA個人会員年会費¥20,000と合わせて、¥20,000~¥40,000というケースが多くなっておりません。

**Q.** 継続教育の単位であるCPEは、時間に換算すると何分ですか？

**A.** カンファレンスやコンベンションへの参加、講座の受講など、1CPEは50分に換算されます。

## ■ 学習について

**Q.** CIA財務会計入門コースは必ず受講しないといけないのですか？

**A.** 当コースは、財務会計の基本的な知識をお持ちでない方を対象にした有料オプション(eラーニングのみ)です。簿記3級程度の会計知識をお持ちでない方は、学習開始前に受講されることをお勧めいたします。

<https://www.abitus.co.jp/cia/>

## ■新宿本校

〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-1-1新宿マインズタワー15階

TEL : 03-3299-3330

FAX : 03-3299-3777

JR「新宿駅」南口徒歩5分・JR「新宿駅」甲州街道改札徒歩5分  
都営地下鉄新宿線・大江戸線、京王新線「新宿駅」A1出口直結

【営業時間】 平日 11:00 - 20:00  
土日祝 10:00 - 20:00

【定休日】 木曜日



## ■大阪校

〒530-0017

大阪府大阪市北区角田町8-1

大阪梅田ツインタワーズ・ノース21階

TEL : 06-6365-8660

FAX : 06-6365-8661

JR「大阪駅」御堂筋南口徒歩4分  
阪急「大阪梅田駅」徒歩3分、地下鉄御堂筋線「梅田駅」徒歩2分

【営業時間】 平日 11:00 - 20:00  
土日祝 10:00 - 20:00

【定休日】 木曜日



新宿本校 **03-3299-3330**

大阪校 **06-6365-8660**

受講相談専用メールアドレス

[cia@abitus.co.jp](mailto:cia@abitus.co.jp)

営業時間については変更となる可能性がございます。詳細はwebサイトをご確認ください。